

●実務経験のある教員等による授業科目

ミュージシャン科

ミュージシャン&作曲コース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の 時数
全科 共通 科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務 I	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務 II		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習	○	244
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習	○	606
専門 科目	バンドアンサンブル	38	38	必修	実技	○	76
	作曲実習	38	38	必修	実技	○	76
	アレンジメント	38	38	必修	講義	○	76
	各専攻トレーニング	38	38	必修	講義	○	76
	各専攻実技	38	38	必修	講義	○	76
	各専攻実践	38	38	必修	講義	○	76
	アンサンブル実習	38	38	必修	実習	○	76
	ライブ制作	19	19	必修	実習		-
合計	総授業時間数	956					

合計	総授業時間数		851				合計
	卒業時最少時間		1807				1458

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。</p> <p>講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。</p> <p>到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし
成績評価	<p>課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。</p> <p>(2019年度例)</p> <p>エイベックス・エンタテインメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、oricon ME、株式会社エイスリー 等</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	93 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マンダラートシート」の作成 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンダラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンダラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法的の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:Ⅱ【目標設定と計画、自覚】「マンダラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×	
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	20	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	<p>音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用)
成績評価	<p>模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	45 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による
成績評価	<p>※各科目によって異なる</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B			実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	305	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	バンドアンサンブル		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	全コース

授業概要	譜面(マスターリズム/リードシート)を用いた演奏のアプローチ、バンド演奏時に必要な知識・技術を習得する。 楽曲中での演奏パートの役割を理解し、パートアレンジのアプローチを学ぶ。 オリジナル曲でのバンドアレンジの進め方を習得する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 バンドアンサンブルについての必要な知識 スタジオリハーサルの進め方
2	課題曲① 譜面の読み方 パート確認
3	課題曲① アンサンブルの音作り リハーサルマークを用いた演奏
4	課題曲① ダイナミクスやキメを意識した演奏
5	課題曲① まとめ 簡易レコーディング
6	課題曲② シーケンスを使った演奏 パート確認
7	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏
8	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏 簡易レコーディング
9	課題曲③ セッション系楽曲の演奏方法
10	課題曲③ セッション系楽曲 簡易レコーディング 前期まとめ
11	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
12	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
13	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
14	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
15	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
16	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
17	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
18	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
19	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング 後期まとめ

教科書等	なし
成績評価	課題曲のレコーディング音源50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲実習		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	ミュージシャン科の学生に向け、ポピュラー音楽の作曲法を紹介する。この授業ではコード進行の作成及びコードに合うメロディーを付けるという作曲方法をマスターしてもらう。楽器専攻の学生向けに、インプロビゼーションの手法も交え、セッションの場面での音楽理論の活用も意識していく。座学形式で必要な音楽理論の基礎を学び、それを元に作曲の実践をしてもらう授業である。1、2年生で進度が異なるため制作課題の度合いもそれぞれで適当なレベルのものとする。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、ガイダンス/DTMによる音楽制作について/MacとProToolsの基本操作説明
2	作曲のための音楽理論:キーとスケール/ダイアトニック・コード/主要和音と終止形
3	モチーフとフレーズ/制作課題①:コード・パターン(決められたコード進行)から作曲
4	制作課題①:コード・パターン(決められたコード進行)から作曲/セブンス・コードを含むトライアドの4和音化について、6thコードについて
5	制作課題②:コード・パターンを組み合わせ作曲/循環コードと逆循環コード
6	制作課題②:コード・パターンを組み合わせ作曲/トゥー・ファイブ進行と偽終止
7	制作課題③の楽曲のキー決定&ダイアトニック・コード一覧表作成
8	制作課題③:ダイアトニック・コードからコード進行を作り作曲/実用的テンション・コードについて
9	完成楽曲の聞かせと総評
10	後期授業概要説明、ガイダンス/コード・サウンドのリハーモナイズ課題①代理和音
11	制作課題③:ダイアトニック・コードからコード進行を作り作曲
12	コード・サウンドのリハーモナイズ課題②セカンダリー・ドミナント・コード
13	コード・サウンドのリハーモナイズ課題③モーダル・インターチェンジ
14	コード・サウンドのリハーモナイズ課題④パッシング・コード
15	インプロビゼーションとアドリブ的作曲法/コード・スケールの考え方/チャーチ・モード・スケール/その他の汎用スケール/制作課題①
16	テンション・ノートとアポイド・ノート/制作課題②
17	モード的作曲法/キャラクタースティック・ノート(特性音)/制作課題③
18	転調とその使用例/制作課題④
19	制作課題⑤の楽曲のキー決定&ダイアトニック・コード一覧表作成/制作課題⑤:自由曲

教科書等	なし
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として10年活動中。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	アレンジメント		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1・2	年	必修・選択	必修
対象学科	ミュージシャン科		総授業時間	38 時間
			対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	ミュージシャン科の学生に向け、ポピュラー音楽の編曲技法を紹介する。特にポピュラー音楽におけるバンドサウンドで頻出の楽器(ベース・ドラム・ギター・ピアノ・シンセサイザー・ストリングス・ブラス)のアレンジを、必要な音楽理論も交えながら紹介したのち、実践制作を行ってもらおう。またDAWソフトウェアによる楽曲制作を前提とした実践的なアレンジ方法やその選択肢、音作りとミキシングについて講義を行い、学生各々の楽曲制作における判断や決定の参考としてもらおう。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、ガイダンス/ポピュラー・アレンジメント、多用される楽器について
2	①ドラム・アレンジとリズム・アレンジ/ドラムセットの楽器について
3	①ドラム・アレンジとリズム・アレンジ/ビートの種類とリズム・パターン
4	②ベース・アレンジ/ベースの種類と特徴・役割/コード・サウンドとの関係と音程
5	②ベース・アレンジ/ドラム(リズム・トラック)との関係性/ジャンル別フレージング
6	③ギター・アレンジ/ギターの種類と特徴・役割/コード進行とコード・ストローク/ストラム・パターン
7	③ギター・アレンジ/ソロギターとスケール、フレージング/エフェクトの使用によるアレンジ
8	④ピアノ・アレンジ/ピアノの特徴と役割/コード伴奏パターン
9	④ピアノ・アレンジ/スケールとフレージング/エフェクトの使用によるアレンジ
10	DAWの機能による楽曲アレンジ・テクニック/エフェクト・プラグインによるアレンジ
11	ポピュラー・アレンジメント/ブラス・アレンジの実践/課題:ブラス・セクション入りの楽曲制作①
12	ポピュラー・アレンジメント:ブラス・アレンジの実践/課題:ブラス・セクション入りの楽曲制作②
13	ポピュラー・アレンジメント:ストリングス・アレンジの実践/課題:ストリングス・セクション入りの楽曲制作①
14	ポピュラー・アレンジメント:ストリングス・アレンジの実践/課題:ストリングス・セクション入りの楽曲制作②
15	ポピュラー・アレンジメント:シンセサイザー・アレンジ/シンセサイザーの音色や設定の基礎知識/課題:シンセサイザー・リードをメインにした楽曲制作
16	ポピュラー・アレンジメント:シンセサイザー・アレンジの実践/課題:シンセサイザー・パートを取り入れた楽曲制作
17	アレンジメント実習①
18	アレンジメント実習②
19	アレンジメント実習③/アレンジメント実習完成アレンジの間合わせと総評

教科書等	なし
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として10年活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻トレーニング(ギターⅠ)		実務授業の有無	○
担当講師	真山亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	実践での演奏に必要な技術を養う。様々なスタイルやコード進行に対応できるバックイング、アドリブ等のアプローチ方法を学びます
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	フィンガリングやピッキングの音感とレーニング等の基礎トレーニング
2	フィンガリングやピッキングの音感とレーニング等の基礎トレーニング
3	上記を毎回日々のトレーニングとします。オープン、バレーコード等の基礎を学びます
4	オープン、バレーコード等の基礎を学びます
5	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習
6	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習
7	バックイングアプローチ、メジャーペンタトニックやイオニアンスケールを使ってのアドリブ練習
8	バックイングアプローチ、メジャーペンタトニックやイオニアンスケールを使ってのアドリブ練習
9	前期試験。これまでの内容の実践
10	ブルースでのバックイングアプローチ、メジャー/マイナーペンタトニックを使用してアドリブの練習
11	ブルースでのバックイングアプローチ、メジャー/マイナーペンタトニックを使用してアドリブの練習
12	ブルースでのバックイングアプローチ、メジャー/マイナーペンタトニックを使用してアドリブの練習
13	ブルースでのバックイングアプローチ、コードトーンを意識したアドリブの練習
14	ブルースでのバックイングアプローチ、コードトーンを意識したアドリブの練習
15	ブルースでのバックイングアプローチ、コードトーンを意識したアドリブの練習
16	ブルースでのバックイングアプローチ、ペンタトニックやコードトーンを意識したアドリブの練習
17	ブルースでのバックイングアプローチ、ペンタトニックとミクソリディアンスケール関係
18	ブルースでのバックイングアプローチ、ペンタトニックとミクソリディアンスケール関係
19	後期試験。前期を含めて実践的に成果をみます

教科書等	無し
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	講師歴15年。大手音楽教室資格取得

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻トレーニング(ギターⅡ)	実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洗平	講義実施時期	前期・後期
		必修・選択	必修
対象学年	2 年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科	対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	総合的なギターの奏法を体得する。読譜からアドリブ演奏などの発展形までを網羅する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション ブルースセッションKey=A
2	ブルース進行における音楽理論的な考察
3	ブルース進行でのソロの作り方。ターンアラウンドフレーズ
4	メジャーブルース課題曲【KeyToTheHighway】の解説、ソロの取り方
5	マイナーブルース課題曲【Thrill is gone】の解説、ソロの取り方
6	ジャズブルース進行の考察。
7	ジャズブルース進行でのソロの取り方。
8	ジャズ課題曲【AutumunLeaves】でのコードアナライズ・メロディの読譜
9	学期末試験ジャズ課題曲【AutumunLeaves】のコード伴奏・メロディを演奏する。
10	ジャズ課題曲【AutumunLeaves】でのコードアナライズをしたうえでアドリブを取ってみる。
11	ジャズでのコードバック(コンビング)
12	ボサノバ風バックトレーニング(課題曲: Girl From Ipanema)
13	ブルースロック系バック・ソロトレーニング(課題曲①)
14	ブルースロック系でのソロメイキング(マイナーペンタ・メジャーペンタ・ドリアンスケールを用いる)
15	ブルースロック系でのソロメイキング(ミクソリディアンスケールを用いる)
16	3つのマイナーダイアトニックコード
17	3つのマイナーダイアトニックコードを用いたコード進行で、アドリブを取る(ナチュラルマイナー・メロディックマイナー・ハーモニックマイナースケールを使用して。)
18	ドミナントスケール
19	課題曲演奏による初見演奏での期末試験

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。

実務経験教員の経
歴

ギターインストラクター歴 12年
レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻トレーニング(ベース)(リズムアンサンブル)	実務授業の有無	○
担当講師	田中 史歩	講義実施時期	前期・後期
		必修・選択	必修
対象学年	1・2 年	総授業時間	36 時間
対象学科	ミュージシャン科	対象コース	ミュージシャン & 作曲コース

授業概要	<p>音楽の根底となるリズムを作るベースとドラム。 リズムアンサンブルを通して、クリックの重要性、リズムの強化、お互いの合わせ方を学ぶ。 また、セッションを通してアレンジ力を身に付ける事を目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ブルースコードセッション12小節
2	8ビートでのアンサンブル① テンポ、リズム、アレンジを変えてアンサンブル。
3	8ビートでのアンサンブル② アレンジを加えて完成。クラス内発表。
4	小節を見失わないリズムアンサンブル①
5	小節を見失わないリズムアンサンブル②
6	レベルアップ:小節を見失わないリズムアンサンブル曲① マイナーブルース
7	レベルアップ:小節を見失わないリズムアンサンブル曲② シャッフル
8	レベルアップ:小節を見失わないリズムアンサンブル曲③ コードトーン自由
9	まとめ シャッフルブルースセッション
10	【16ビートセッション①】 ウラ拍を強調したセッション
11	【16ビートセッション②】 ウラ拍でうねるような8ビート
12	【16ビートセッション③】 アシッドジャズ
13	【ファンク】 ハーフタイムシャッフル
14	【サンバ】 ブラジル音楽のベースライン①
15	【バイヨン】 ブラジル音楽のベースライン②
16	【ラテン】 アフロ・キューバン音楽のベースライン①
17	【ラテン】 アフロ・キューバン音楽のベースライン②
18	【グループワーク】 セッショングループ3チーム作成し、オリジナルアンサンブル作成
19	【発表】 まとめ発表

教科書等	なし
成績評価	課題披露60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。

実務経験教員の経歴

ワーナーミュージック: CDリリース、ドラムレコーディング参加
徳間ジャパン: メジャー経由にてCDリリース、ドラムレコーディング参加

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻トレーニング(ドラム)(リズムアンサンブル)	実務授業の有無	○
担当講師	田中 史歩	講義実施時期	前期・後期
		必修・選択	必修
対象学年	1・2 年	総授業時間	36 時間
対象学科	ミュージシャン科	対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	<p>音楽の根底となるリズムを作るベースとドラム。 リズムアンサンブルを通して、クリックの重要性、リズムの強化、お互いの合わせ方を学ぶ。 また、セッションを通してアレンジ力を身に付ける事を目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ブルースコードセッション12小節
2	8ビートでのアンサンブル① テンポ、リズム、アレンジを変えてアンサンブル。
3	8ビートでのアンサンブル② アレンジを加えて完成。クラス内発表。
4	小節を見失わないリズムアンサンブル①
5	小節を見失わないリズムアンサンブル②
6	レベルアップ:小節を見失わないリズムアンサンブル曲① マイナーブルース
7	レベルアップ:小節を見失わないリズムアンサンブル曲② シャッフル
8	レベルアップ:小節を見失わないリズムアンサンブル曲③ コードトーン自由
9	まとめ シャッフルブルースセッション
10	【16ビートセッション①】 ウラ拍を強調したセッション
11	【16ビートセッション②】 ウラ拍でうねるような8ビート
12	【16ビートセッション③】 アシッドジャズ
13	【ファンク】 ハーフタイムシャッフル
14	【サンバ】 ブラジル音楽のベースライン①
15	【バイオン】 ブラジル音楽のベースライン②
16	【ラテン】 アフロ・キューバン音楽のベースライン①
17	【ラテン】 アフロ・キューバン音楽のベースライン②
18	【グループワーク】 セッショングループ3チーム作成し、オリジナルアンサンブル作成
19	【発表】 まとめ発表

教科書等	なし
成績評価	課題披露60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ワーナーミュージック:CDリリース、ドラムレコーディング参加 徳間ジャパン:メジャー経由にてCDリリース、ドラムレコーディング参加

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻実技(ギター)		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	総合的なギターの奏法をマスターする。 主にアコースティックギターを使用し、弾き語りの伴奏を体得する。また、ギターを使用したコード理論・ケーデンス・作曲法も体得する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ギターの特徴であったり、教室施設の説明。スタジオ機材の説明
2	ギターの構え方。読譜方法。基本的ストローク
3	オープンコードの押さえ方。課題曲①を用いたコードチェンジ
4	課題曲① 全音符～8分音符のストローク
5	課題曲②8th note Groove 解説
6	課題曲②8th note Groove チェック
7	課題曲③16th note Groove 解説
8	課題曲③16th note Groove チェック
9	前期末テスト(課題曲②・③)
10	前期に行った課題曲をもう一度行い確認
11	転調とカポタストの役割
12	課題曲④3和音中心のアルペジオ
13	三和音・四和音のヴォイスिंग
14	四和音を使用した課題曲④8th note Groove
15	四和音を使用した課題曲④8th note Groove
16	四和音を使用した課題曲⑤16th note Groove
17	四和音を使用した課題曲⑤16th note Groove
18	期末課題曲⑥の解説
19	期末試験 期末課題曲⑥のチェック

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻実技(ベース)		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	ベースの基礎的な演奏方法を学び、すべての奏法を網羅する。 様々なジャンルでの演奏方法を学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。
2	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの基礎。
3	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの発展。
4	フレットポジションの確認・リズムの確認。
5	フレットポジションの確認・リズムの小テスト。
6	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの基礎。
7	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの発展。
8	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの基礎。
9	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの発展。期末確認テスト。
10	課題曲①の解説・実践。
11	課題曲①のチェック。改善案の提示。
12	ジャズ風のベースフレーズの基礎。
13	ジャズ風のベースフレーズの発展。
14	ファンク風のベースフレーズの基礎。
15	ファンク風のベースフレーズの発展。
16	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの基礎。
17	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの発展。
18	期末試験課題曲②の解説・実践。
19	期末試験課題曲②演奏試験。

教科書等	なし
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻実技(ドラム)		実務授業の有無	○
担当講師	田中 史歩		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	<p>1、ドラムを演奏するための知識、技術だけでなく、楽器自体の仕組みやチューニングを学ぶ。</p> <p>2、筋力トレーニングを取り入れ、体力だけでなく精神面も鍛えていく。</p> <p>3、様々なツールを利用し、発信する知識を身に付ける。</p> <p>4、各種コンテストや、YAMAHAグレード試験に対応出来る演奏力、表現力、読譜力を身に付ける。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ドラムの座り方、スティックの持ち方、ドラムのセッティング スティックコントロール(シングルストローク・アクセント) 8ビートテンポアップ祭り、フィルインあり、BPM80～BPM200まで。叩ける人はそれ以上のテンポで叩く。
2	スティックコントロール(奇数連符・フラム) 左足強化練習。ドラムのリズム強化と、裏拍クリック体感。 次週の曲発表。 ※YouTubeアカウント始動。毎回授業を撮影し、アップ。
3	スティックコントロール(ダブルストローク・バラデイドル) アプローチ指導：インスト曲に自由にドラムフレーズを作成し、発表。 ※宿題、タイプの違う3曲(洋楽)を提示。
4	スティックコントロール(ロール・初見大会) 宿題チェック。発表。
5	ベースドラム16部パターン① 様々なバスドラパターンと、HHパターンアプローチを実施。
6	ベースドラム16部パターン② 有名アーティストのドラムフレーズを叩く。
7	ドラムコンテスト課題チェック① 個別指導のためローテーションでスタジオ巡回。
8	ドラムコンテスト課題チェック② 個別指導のためローテーションでスタジオ巡回。
9	ドラムコンテスト課題チェック 最終撮影 YouTubeアップしコンテストエントリー完了。
10	ドラムリズム グレードB課題① シャッフル、ワルツ 基本的ビートからフィルインまで。
11	ドラムリズム グレードB課題② ボサノバ、サルサ、サンバなどのラテンリズム。 基本的ビートからフィルインまで。
12	ドラムリズム グレードB課題③ まとめ。基本ビートチェック。
13	初見大会① ルーディメンツ(YAMAHA初見を基本とするオリジナル) 30秒程チェックしたのち、演奏。 ※自由曲レパートリー選出(8級の場合:3曲。7級の場合:4曲。6級の場合:5曲)
14	初見大会② ドラムリズムパターン(バスドラム変化) 30秒程チェックしたのち、演奏。
15	中間テスト。 YAMAHAグレードに乗り取り、A課題・B課題チェック。
16	機材メンテナンス、チューニング大会 SHOW!のドラム機材全てのメンテナンス。構造理解。 ※自由曲譜面用意ここまで
17	YAMAHAグレード自由曲チェック① 個別指導のためローテーションでスタジオ巡回。
18	YAMAHAグレード自由曲チェック② 個別指導のためローテーションでスタジオ巡回。
19	YAMAHAグレード 内部テスト ※本試験を想定した内容とする A課題、B課題、自由曲課題(10級～8級の場合はその中から1曲。7級～6級の場合は2曲)

教科書等	YAMAHA演奏グレード10級～6級受験要項 ドラムマガジン
成績評価	前期課題披露60%、授業態度および学習意欲30%、毎日のルーディメンツ10% 後期課題披露50%、自由曲30%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ワーナーミュージック: CDリリース、ドラムレコーディング参加 徳間ジャパン: メジャー経由にてCDリリース、ドラムレコーディング参加

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻実践(ギターⅠ)		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	音楽理論を交えた演奏や、各音楽ジャンルへの理解を深めます。 譜面の読み書きや、コード・ハーモニーへの理解を深め、楽曲に対する理解を深めます。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・授業の進行説明・面談(目指すギタープレイや将来の展望など確認)
2	メジャースケールの知識・アンプでの音つくりの知識
3	メジャースケールの基礎
4	3和音の知識(CAGEDフォームを使用)
5	ダイアトニックコードについて・メジャーダイアトニックコード進行
6	コードスケール・テンションに関して
7	マイナースケールとマイナーダイアトニックコード進行・テンション
8	ダイアトニック以外のコード(6th.sus4.Dim.分数コード)
9	前期末実技テスト
10	セカンダリードミナントコード・代理ドミナント・二次的ドミナントについて。
11	ディミニッシュコードについて①
12	ディミニッシュコードについて②
13	課題曲①の解説・実践
14	課題曲①のチェック
15	課題曲②の解説・実践
16	課題曲②のチェック
17	課題曲③の解説・実践
18	課題曲③のチェック
19	後期末実技テスト 課題曲①～③の中から選んだ一曲の実技試験

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻実践(ギターⅡ)		実務授業の有無	○	
担当講師	真山亮		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	38	時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン&作曲コース	

授業概要	実践での演奏に必要な技術を養う。様々なスタイルやコード進行に対応できるバックイング、アドリブ等のアプローチ方法を学びます
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	バックイングアプローチ、マイナーペンタニックを使ってアドリブ練習
2	バックイングアプローチ、マイナーペンタニックを使ってアドリブ練習
3	バックイングアプローチ、マイナーペンタニックを使ってアドリブ練習、ドリアンスケールの導入
4	バックイングアプローチ、マイナーペンタニックを使ってアドリブ練習、ドリアンスケールの導入
5	バックイングアプローチ、マイナーペンタニックを使ってアドリブ練習、ドリアンスケールの導入
6	アヴェイラブルノートスケール、モードスケールの理解
7	アヴェイラブルノートスケール、モードスケールの理解
8	アヴェイラブルノートスケール、モードスケールの理解
9	前期試験。これまでの内容の実践
10	セカンダリードミナントのアプローチ
11	セカンダリードミナントのアプローチ
12	サブドミナントマイナー
13	サブドミナントマイナー
14	ナチュラル、ハーモニック、メロディックマイナーを学ぶ
15	ナチュラル、ハーモニック、メロディックマイナーを学ぶ
16	ディミニッシュ、オーギュメントコードを学ぶ
17	ディミニッシュ、オーギュメントコードを学ぶ
18	ディミニッシュ、オーギュメントコードを学ぶ
19	後期試験。前期を含めて実践的に成果をみます

教科書等	
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	講師歴15年。大手音楽教室資格取得

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻実践(ベース)		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	基礎から発展したフレーズを学ぶ。音楽理論を踏まえたフレーズや、ベースラインの構築などを学ぶ。また、リズム楽器としての役割を考えフレーズづくるができるようになる。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。フレットポジションについて。リズムの読み方。
2	コード理論・フレットポジションについて。リズムの読み方
3	コード譜に沿ったリズムトレーニング①
4	コード譜に沿ったリズムトレーニング②
5	運指トレーニングの強化・ピッキングについての考察。
6	ハンマリング・プリング・フィンガー/ピックピッキングの考察。
7	3・5・7度を使用した基礎フレーズ。
8	3・5・7度を使用した発展フレーズ。課題曲①の解説・実践
9	期末テスト(課題曲①)
10	メジャースケールを使用した技術トレーニング。
11	ナチュラルマイナースケールを使用した技術トレーニング。
12	コードトーンを使用したフレーズ作り。
13	課題曲②の解説・実践
14	課題曲②の中間確認テスト
15	スラップの基本フレーズ
16	スラップの発展フレーズ
17	課題曲③の解説・実践
18	課題曲③のチェック
19	課題曲③を使用した前期確認テスト。

教科書等	なし
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻実践(ドラムス)		実務授業の有無	○
担当講師	藤島玲子		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	<p>本授業では、楽譜とりわけドラム譜についての授業を行う。 楽譜に対しての苦手意識を無くし、楽譜から情報を読み取れるようにすることで自身の音楽世界をより豊かにしていく。 基本的なドラム譜の読み方や書き方から始め、リズムの聴き取りや楽譜を見ての演奏などをできるようにすることを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業ガイダンス(学生一人一人に譜面をよめるかなどの確認)
2	リズムの読み方① 4分8拍16音符などを組み合わせたシンプルなりズムを使用。
3	リズムの読み方② 休符を用いたリズム練習。16分音符のバリエーションについて。
4	リズムの読み方③ リズムの読み方①②の復習、また3連符や6連符を織り交ぜたりズム練習。
5	リズムの読み方①～③の復習、また1～4小節程度のリズムを楽譜に書き、それを演奏する。
6	リズムの聴き取り練習 (スネアドラムとバスドラムのみ使用したシンプルなりズムから)
7	実技試験内容確定、実技試験対策練習 (簡単なフレーズを聴き取り、譜面に起こす/楽譜をみてリズム打ち)
8	実技試験対策練習 (今までの復習、苦手な分野のポイント練習)
9	前期実技試験実施
10	譜面の読み方① 8ビートのフレーズ(2～4小節程度)を使ったリズム練習(フィル使用)について。
11	譜面の読み方② 8ビートのバスドラムリズムバリエーション練習(2～4種)について。
12	譜面の読み方③ 譜面の読み方①②の復習。
13	8ビートバリエーション スネアに16分音符を用いた8ビート(シェイク)、ハイハットの裏打ちなどについて。
14	8ビートバリエーションの復習、リズムの聴き取りと書き取り。
15	16ビート、シャッフルビートなどについて。
16	これまでの復習、またよく用いられる楽語、拍子について。
17	実技試験内容確定、実技試験対策練習 (任意の曲でドラム譜を見ながらの演奏、簡単なフレーズの聴き取り)
18	実技試験対策練習 (今までの復習、苦手な分野のポイント練習)
19	後期実技試験実施

教科書等	SYNCOPIATION ドラム・スティックコントロール
成績評価	小課題、課題試験80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	フリーランスの打楽器奏者。昭和音楽大学・同大学院修了。演奏ジャンルは幅広く学校や公共施設での演奏をはじめ新潟各地で多数のアーティストとの共演やサポート演奏を行う。 ドリーム音楽院講師、あぼろんミュージックスクール講師、新潟北区フィルハーモニー管弦楽団トレーナー。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻実践(パーカッション)		実務授業の有無	○
担当講師	藤島玲子		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	<p>本授業では、主にラテンパーカッション、民族楽器、小物楽器の技術を身につける。それぞれの楽器の奏法を習得することを目的とするが、同時に音楽における重要な事柄であるリズム、テンポへの意識を高めていく。グループレッスンを中心に行い、学生同士の意見交換やアンサンブル演奏など複数人数での音楽づくりができるようにする。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業ガイダンス、パーカッションの歴史や種類・奏法の紹介や説明を行う。
2	カホン奏法① ベーストーンやハイトーンをRL両方で音出し。簡単なリズムを用いてのリズム打ち練習。
3	カホン奏法② ティップやスラップ奏法の練習。カホンでの8ビート(パターン2~4種)の紹介と実践。
4	カホン奏法③ 8ビート練習の復習、フィルを使ってのフレーズ練習。
5	カホン奏法④ 16分音符や3連を取り入れた8ビートバリエーションの練習。16ビートについての紹介。
6	カホン奏法⑤ 16ビート(パターン2~4種)の実践。フィルを使ってのフレーズ練習。
7	実技試験内容確定、実技試験対策練習 (基本パターン演奏当日指定/任意の曲演奏)
8	実技試験対策練習 (基本パターンを復習するほか、実際に曲に合わせてリズムの確認などを行う)
9	前期実技試験実施
10	ジャンベ奏法① ジャンベ紹介(ルーツ、種類)、基本的な音色と奏法(ベーストーン/オープン/スラップ)を紹介、実践。
11	ジャンベ奏法② パターン練習(2~3種)、ジャンベのチューニングについて。
12	コンガ・ボンゴ奏法① コンガ・ボンゴ紹介、チューニングの説明。基本的な奏法(ヒール/トゥ/モフ/スラップなど)を実践。
13	コンガ・ボンゴ奏法② 基本奏法を復習し、パターン練習(コンガ2種、ボンゴ1種)の実践。
14	コンガ・ボンゴ奏法③ 様々なパターンバリエーションを実践。
15	小物打楽器の紹介、各楽器の基本奏法を練習。カホンやジャンベ、コンガなどを用いてアンサンブル演習。
16	アンサンブル実践 (各楽器基本パターンを復習し、各楽器ソロやユニゾンのリズムを取り入れての演奏を実践する)
17	実技試験内容確定、実技試験対策練習 (ジャンベ、コンガ、ボンゴの基本奏法、コンガパターンバリエーション)
18	実技試験対策練習 (リズムパターンの確認をするほか、スラップの精度を上げたり各奏法の音色作りも狙う)
19	後期実技試験実施

教科書等	<p>リズムトレーニング パーカッション奏法&リズムアンサンブル カホンアンサンブル曲集</p>
成績評価	<p>定期課題、実技試験80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>フリーランスの打楽器奏者。昭和音楽大学・同大学院修了。演奏ジャンルは幅広く学校や公共施設での演奏をはじめ新潟各地で多数のアーティストとの共演やサポート演奏を行う。 ドリーム音楽院講師、あぼろんミュージックスクール講師、新潟北区フィルハーモニー管弦楽団トレーナー。</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	アンサンブル実習		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン&作曲コース

授業概要	アンサンブルを通じて、バンドでのリズム・メロディ・ハーモニーのアレンジを総合的に学ぶ。課題曲を演奏したり、課題曲をアレンジしたりして楽曲への理解を深め、アレンジも行えるように指導を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション。マスタリズム・楽譜とは何か。課題曲①(ワンコーラス)
2	課題曲①
3	課題曲②
4	課題曲②
5	課題曲③
6	課題曲③
7	前期末課題曲④
8	前期末課題曲④
9	前期末課題曲テスト
10	課題曲⑤
11	課題曲⑤
12	課題曲⑥
13	課題曲⑥
14	課題曲⑦
15	課題曲⑦
16	課題曲⑦
17	後期末課題曲④
18	後期末課題曲④
19	後期末課題曲テスト

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブ制作		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン & 作曲コース

授業概要	前期・後期に学んだ集大成として、ライブイベントを企画・制作・運営する実習。
------	---------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション概要説明。企画決め。
2	リーダー決め・内容のブレインストーミング
3	全体の進行スケジュールを考える。
4	ステージ制作
5	ステージ制作
6	ステージ制作
7	ステージ制作
8	ステージリハーサル
9	ステージリハーサル
10	イントロダクション概要説明。企画決め。
11	リーダー決め・内容のブレインストーミング
12	全体の進行スケジュールを考える。
13	ステージ制作
14	ステージ制作
15	ステージ制作
16	ステージ制作
17	ステージ制作
18	ステージリハーサル
19	ステージリハーサル

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。